

第6次総合計画基本構想の構成について

1 第6次総合計画基本構想の構成（案）の考え方

… 現行の第5次総合計画との比較は資料4参照

構成（案）	記載内容とねらい
策定の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 本市の将来を長期的に見通し、まちづくりの目標を定め、必要な施策の方向を明らかにし、本市行政の各分野における諸計画や施策・事業の推進、また、市民や事業者などの活動の指針となるものとして策定する。
目標年次	<ul style="list-style-type: none"> 既存の長期ビジョン等とも整合を図りながら長期的、総合的なまちづくりを実現していくため、2050年を目標年次に設定する。
時代潮流の変化や宇都宮市の現状から導き出される課題	<ul style="list-style-type: none"> 時代潮流変化の影響や見通し等の本市への影響や、本市の現状から強み・弱みを分析し、<u>人口減少（自然減・社会減）と人口構造の変化（少子化、超高齢化、生産年齢人口の減少）</u>への対応を、今後の本市のまちづくりに影響を及ぼす最も重要な課題ととらえ、それらを切り口として、まちづくりの重点課題を導き出した。
まちづくりの目標	<ul style="list-style-type: none"> 目標年次である2050年に本市が目指す「まちの状態」を明確にするため、「宇都宮市の現状と時代潮流の変化から導き出される課題」で導き出された課題に対応した「2050年のまちの状態」を示し、実現していくための基本目標として、「<u>6つの未来都市</u>」の実現、それらが解決された状態として「<u>将来のうつつのみや像（都市像）</u>」を記載する。
まちづくりの基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 「<u>将来のうつつのみや像（都市像）</u>」を実現するため、基本目標の「<u>6つの未来都市</u>」の実現に必要な取組の基本方向と、それぞれの関係性等を記載する。
将来のうつつのみや像の実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を実現するため、市民や事業者、行政などの本市を構成する各主体の役割や協働・連携の考え方などを記載する。